



池田 るみ 議員

# インターネットで子育てに関する申請を

## システム構築など作業を進めている

**問** 児童クラブの利用状況と30年度の登録状況は。

**答** 町民課長 利用状況は各館、昨年より月17名程増えている。登録状況は、大林児童館は23名で1名減、東原児童館は120名で12名増である。

**問** 30年度の利用料の変更理由は。

**答** 町民課長 近隣市町の状況や利用者負担の公平性を考慮して、高学年、低学年共に年額2千円の負担をいただくことにした。

**問** 平日の利用時間を午後7時まで延長や長期休暇の早朝の利用時間の延長を早める考えは。

**答** 町民課長 延長の要望があれば、延長時間の有料化などを踏まえた検討が必要になる。

**問** 子育てに関する申込みなど、インターネットでの申請を。

**答** 企画財政課長 児童手当など10の手続きについて、平成29年度中の電子申請の受付開始に向け、システム構築などの作業を進めている。

**問** 来年度の写真フェスティバルの町の負担は

**答** 企画財政課長 現状では目に見える効果は示すことは出来ないが、数年後には成果を示せるようにアマネを進めていく。

**問** 来年度の写真フェスティバルの計画内容は。

**答** 企画財政課長 龍神まつりの開催時期から3カ月程の期間で、国、県や団体の補助金と町の負担を合わせて、何千万円という規模になると考え進めている。

**問** 町の負担はどれくらいを考えているのか。

**答** 企画財政課長 龍神まつりの補助額650万円が目安になってくると考えている。

**問** フランス、ラ・ガシイへ海外視察に行った経緯は。

**答** 企画財政課長 アマネが目指しているフォトフェスティバルの理想が、ラ・ガシイであり視察の提案があった。最大の効果が得られるものとして実施をした。

**問** 町長は、どのよう効果を求めて行ったのか。

**答** 町長 フォトフェスティバルのイメージを作ることと、共同で行うアマネから提案があったことから、積極的に応えようと考え実施をした。



エコールみよた展示のアートフォト



市村 千恵子 議員

# 農業への町独自の支援を

## 効果的な支援を今後検討

**問** 今年の出荷状況と売上高は。この状況をどう捉えているか。

**答** 産業経済課長 11月上旬のJA佐久浅間町管内の野菜販売実績は、前年度対比で出荷量は101%、販売価格は25億9千万円で、前年度対比で80%と大幅に収入が減少した。

来年度の資材調達に資金不足などが懸念され、農家の経営維持を図るため、融資期間の利率の2分の1を補填していきたい。

**問** 新規就農者や後継者に対する町独自の支援は。

**答** 産業経済課長 認定農業者や認定新規就農者へは町独自の支援として、新規で農地を借り受けた場合に借り受け期間、面積に応じて農用地利用促進事業補助金を交付している。

後継者に対する支援は、独自支援や移住・定住に絡めて補助している市町村があり、そうした支援策を検証しながら、町の現状などに見合った効果的な支援を今後検討していきたい。

**問** 新公共交通システム検討委員会の答申結果は

**答** 企画財政課長 タクシー券1枚当たりの購入金額を現行の600円から400円に、町の補助額も900円から600円に引き下げ、1回の乗車金額は、現行の1千500円から1千円になる。

**問** 来年度実施する多様なニーズに対応する制度に改正

**答** 企画財政課長 長距離乗車、短距離乗車ともに利用しやすく、多様なニーズに応えられる制度となる。



町内のタクシー業者

**問** 共同調理場あり方検討委員会の検討結果は

**答** 共同調理場あり方検討委員会 が必要になることから、現状のまま直営方式を継続すべきであるという結論に達した。

**問** 経過と検討結果

**答** 教育次長 昨年8月から検討を始め、民間委託の軽井沢町と木島平村の視察を含め、7回審議を行った。

アレルギー対応食は、県内の民間委託の現状では、代替食の実績がなく、現在の町と同等の対応レベルを維持できるか現実でないこと、調理業務に要する経費が、現状より多額の委託料



アレルギー対応の「特食室」